活動名	+ +	, ン プ フ	アイヤ	<b>7</b> —	• +	ヤン	ド	ルサ	- —	ビス	ζ.	
概要		やロウソクの火を囲み 長感ほぐしや親睦、まと					が感や友性	青を深めん	ることが	できる活動	動。学習	
教育的効果	(1)ゲームやダンス、スタンツ、歌等を通じ、友情と親睦を深めることができる。 (2)プログラムの企画や運営を通し、リーダー性や協調性、連帯感等を養うことができる。 (3)静寂の中、煌々と燃える火を見つめながら自分の心を見つめる機会を提供できる。											
諸条件	場所	大集会場 □小キャンプ 研修棟 □野外活動棟ホ		対 象	※未就学り				<b>寸添いが</b> 必	(要)		
利用団体準備事項	<ul> <li>時期 通年</li> <li>大候 雨天・荒天時(強風・雷等も)は相談</li> <li>□活動場所や活動メニューの選定 □雨天時の対応を考える</li> <li>□引率者の役割分担(例): ①全体の管理(時間調整や指揮)を行う ②係(火の使い、誓詞者、営火係、司会等)の指導 ③片付け指導</li> <li>④保健 ⑤企画・運営等</li> <li>□事前指導:グループや係分け、活動の流れを指導</li> </ul>											
利用団体 準 備 物												
活動メニュー	+ +	ンプフ	ア イ	3	- +	ヤン	F	ル	サ・	ビ	` ス	
	□晴天時でも突発的な天候(雷雲、風)によっては、屋外活動から室内活動へ場所の変更をお願いすることがある。											
最大人数	□大集会場300人程度 □小キャンプファイヤー場120人程度 □研修棟300人程度 □野外活動棟ホール120人程度									F E		
施設からの貸出用具	□リヤカー、スコップ、ふるい □トーチ、灯油、鉄缶 □けた木、薪、マッチ、皮手袋 等					□燭台 □スクレイパー □ライター 等 □ロウソク(大・中)※ロウソク小は購入						
時 間	1. 5~2時間											
必須係	□営火長 □司会 □火の使い □誓詞者 □営火係											
リスク	□やけど: 薪くべや炭を扱う時、衣服に火が燃え移る、火の粉やロウソクが皮膚に付く □転倒: 暗闇の中で行うレクリエーションやスタンツで、ふざける等の不注意 □火災: 突風や風の向きが変わり火の粉が飛び移る、乾燥期や落葉時期等季節や天候を最大限考慮する											
流れ(例)	所要時間	項目		内			容	Į.				
	事前 メニュー相談・決定 □活動メニューを打合せする □グループ内で役割分担をする											
	~90 分											
	90~100 分 キャンプファイヤー・ 90~100 分 キャンドルサービス □全体の流れ・安全に関する説明 の実施 □活動:第1部「迎え火の集い」 第2部「交歓の集い」 第3部「送り火の集い」											
	30~60 分 片付け◎ □消火作業、消火確認、センター事務室へ実施報告 □貸出し道具等一式の返却 □ファイヤーサークル内や燭台の清掃、片付け ※一部の片付けは翌日でも可能											
施設職員 支援内容	・②の活動で、施設職員は、利用団体へ用具の貸出し、返却時の点検を主として行う。(返却前の点検は利用団体で行うこと)											